

日本の自動車メーカーの米国貢献

- 日本の自動車メーカーは、1982年に米国での現地生産を開始
- 米国企業の一員として継続的な雇用と投資を促進

累計投資額： 616億ドル

現地生産台数： 年間320万台

現地部品の累計調達額： 1兆5千億ドル

直接雇用： 11万人 ※間接雇用を含めると220万人

適正取引の推進

- 自工会・部工会の緊密な連携によるサプライチェーン全体への浸透を強力に推進



国際競争力向上を目指した制度・仕組みづくり

将来のデジタル時代に即した新技術に対応する
認証制度の在り方

経団連企業と進める「7つの課題」

- ① 物流・商用・移動の高付加価値化/効率化
- ② 電動車普及のための社会基盤整備
- ③ 国産電池・半導体の国際競争力確保
- ④ 重要資源の安定調達 強靱な供給網の構築
- ⑤ 国内投資が不利にならない通商政策
- ⑥ 競争力のあるクリーンエネルギー
- ⑦ 業界を跨いだデータ連携

自工会ビジョン2035



VISION 2035





Japan Mobility Show

ワクワクする未来を、探しにいこう！

開催期間： 2025年10月29日（水）～11月9日

開催会場： 東京ビッグサイト